

【別紙】

「本件申立てに至った経緯」

① 最初の借り入れについて

平成9年9月、就職活動中に面接のため最寄り駅まで自転車で向かっていた途中、誤って転倒してしまい、スーツを駄目にしてしまいました。その為、新しいスーツを購入する為に、シシキから5万円借入れ、スーツを購入致しました。

② 債務が増えていった原因

平成11年10月、家電店に行った際、買い物をするのに便利だと店員に勧められ、セゾンカードを作成致しました。5万円のローンを組んで買い物をしておりましたが、収入の範囲で返済はできておりました。

平成13年6月、株式会社△△に転職致しました。未経験で不動産営業をすることになり、会社より宅地建物取引主任資格を取得するよう厳命があった為、専門学校へのスクーリングや教材費等の不足分をアロムから10万円借入れてしまいました。

平成15年10月、金利を下げる等、もっと有効な返済の方法は無いかと考え、当時会社で提携していたみずほクレジットより低利で230万円借入れ、他の債権者の返済に充てましたが、借金が増えるだけで、結局、何の解決にもなりませんでした。

平成17年5月、買物に行った際に、ポイントが付いてお得だと店員に勧められ、ジャックズのカードを作成致しました。

平成19年9月、父が病に倒れてしまい、入院を余儀なくされました。その為、その入院費や治療費を補う為に、竹富士から30万円借り入れてしまいました。

平成20年8月、××株式会社に転職致しました。ところが、実際に仕事を始めてみると入社時の条件とあまりにも違っていた為、職場環境に耐えきれず、××株式会社を同年11月に退職致しました。この時、次の就職先を決めずに退職をしてしまった為、平成20年2月、現在勤務する株式会社〇〇に入社するまでの間の不足した生活費を借入れてしまいました。

平成23年6月、借金の総額が500万円を超えてしまい、このまま1人の力だけでは解決できないと思い、今後のことを考え、破産を申し立てる決意を致しました。

長年にわたる私の考えの甘さ、弱さで生活の建て直しができず、債権者の皆様にはご迷惑をお掛けして大変申し訳なく思い、深く反省しております。

今後は決して借金をすることなく、堅実に人生をやり直していく決意を固めました。

人生再建の機会を与えてくださいますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。